

劇遊び ~表現を楽しむ~ R5.12.11

役になりきったり表現を楽しむのに小道具も大事なもの。子ども達のイメージを形にしてより楽しめるように協力して作りました。廃品製作や夏のお楽しみ会で触れた大きな段ボールなど今までの経験からどんな形にするのか考えたり、お友だちと共有すると興味や意欲が広がり楽しんでいました。

どうしたらいいかな？
おおきいかみできれいはる？



かみをいっぱいはると
つよくなるんだって

むずかしいからみながらかこうかな～



いっぱいつけて～

どうやってかこうかな～

～ももたろう～ 鬼が島へ出発 動物たちのやいと



動きや声の大きさなど保育室で楽しんでたままだと、ホールでは周りに聞こえなかったり伝わらないことに気付く子どももいました。少しずつ“劇を観てもらおう”意識が出てきた瞬間です。でも、どうしたら良いかわからない子どもたちにお客さん役で見ていた子たちが感想で見えなかったり聞こえないことを伝えられ、自分達の気づきに自信を持ち、表現を変えたり工夫しようとする姿が見られました。

～さるかに～ さるとかにのやいと さるの家で待ち伏せる



劇の会で見てもらうことが分かれると子どもたちに期待感や不安感が見られていました。時に理由もわからず急に寂しくなったり、やりたくない気持ちが出たりします。それは担任や保護者の期待感や気持ちの表れでもあると感じ、子どもたちには“ちゃんとやらなきゃ”ではなく表現を楽しんで仲間と一緒にやり遂げた達成感や満足感を感じられるようにしたいと思いました。劇遊びをやっていくごとに良くなり楽しくなっていく子ども達。楽しかった。もっとやりたい。と思えるように一緒に楽しみたいと思います。